

ROTOBO

Connecting Markets

ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)10月25日号 No.2005

目次

■ 2024年のEUとロシアの貿易の総括と展望	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2025年11月号のご案内	16
■ エトセトラ	17
情報提供セミナー「ロシアへの輸出取引に関わる実務動向と法的課題」	17
セミナー「中央アジアを読み解く3つの視点」	17
■ トピックス	17
在口大、ビザセンターを設置へ	17
英米、ロシア石油大手に制裁	17、18
神戸製鋼、カザフスタンでの還元鉄プラントを受注	18
EU、ロシア産LNGの段階的禁輸を決定	18

2024年のEUとロシアの貿易の総括と展望

(一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所
部長 齋藤 大輔

はじめに

2024年、EUはロシアとの間でどのような貿易を行ってきたのか。制裁強化で、ロシアとの分断が進む中、経済関係はどのように変わったのか。2024年のEUとロシアの貿易を振り返るとともに、今後を展望してみたい。

1. EUの対口貿易の構造変化

EuroStatが発表した貿易統計によると、昨年1年間の欧州連合(EU)とロシアの貿易額は675億4,499万ユーロとなり、前年と比べて24.0%減少した。これで2年連続の大幅な落ち込みとなり、侵攻前の2021年と比べると、貿易額は約4分の1にまで縮小した。ただし、前年と比べると減少幅は緩やかになっている。

EUは日本や米国とともに、ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、厳しい経済制裁を次々と科してきた。2024年には、2月に対口制裁パッケージ第13弾、6月に第14弾、12月に第15弾をそれぞれ採択した。もうこれ以上科すことがないというほど制裁を強化し、ロシアに最大限の圧力をかけ続ける。

ロシアとの貿易額は、2021年の2,528億1,572万ユーロから侵攻が始まった2022年は2,575億3,480万ユーロと過去最高を記録した。しかし、2023年には889億3,312万ユーロに落ち込んでいた。